

2021年9月1日

研究プラットフォーム運用開発部門 (MarE3)
環境保安グループ

新型コロナウイルスの拡散に伴う MarE3 における船舶訪船基準 (改2)

研究プラットフォーム運用開発部門 (MarE3) は、新型コロナウイルスの船内における感染拡大を可能な限り阻止するため、主に乗船・訪船に先立ち必要となる予防策として、船舶乗船/訪船基準を設定してきた。本文書は 2021 年 9 月 20 日以降の機構船舶への訪船を念頭に策定したものである。訪船者に対する対策強化を検討した結果、訪船前 PCR 検査の実施時期を訪船直前とし対象者も拡大した上で、訪船前の自己管理徹底を改めて求めることとした。なお、訪船地周辺地域の最新の感染状況把握に努めること。

■本文書における「訪船者」の定義と注意事項

- 機構船舶を訪問し、船上において艀装、修繕、積込み等の業務を日帰りで行う者とする。
- 訪船は、当面の間、艀装、修繕、積込み等の目的に限る。訪船者は必要最低人数とする。
- 曝露部や格納庫内のみの作業を行う訪船者についても、訪船前 PCR 検査を必須とする。

【訪船 18 日前 (注 1) から訪船日まで実施すべき事】

- 指定された様式の健康記録簿に毎朝の検温結果や体調異常等を記録するとともに、指定された様式の行動備忘録に各自の行動を記録する (注 2)。
- 以下に示す症状がみられた場合、とりまとめ担当者 (下段に記載) を通じて MarE3 運用部船舶運用グループへ速やかに報告・相談する (注 3)。
 - 息苦しさ (呼吸困難)、強いだるさ (倦怠感)、高熱 (37.5℃以上) 等の症状のいずれかがあった場合 (新型コロナウイルスワクチン接種に伴うと考えられる発熱の場合も含む)
 - 上記以外で発熱 (37.5℃未満であっても平熱に比べ高い体温) や咳などの比較的軽い風邪の症状が 4 日以上続いた場合
 - 嗅覚・味覚障害が自覚された場合
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に資するよう開発された新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) が利用できる環境にあれば、原則インストールして利用すること。

厚生労働省 HP 新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

【訪船 14 日前 (注 1) から訪船日まで実施すべき事】

- 自宅・宿泊先等での滞在及び移動に際し、以下の感染防止対策をとり自己管理を徹底する。
 - マスク着用・手洗い・消毒の徹底し、屋内での換気とともに食事時の感染防止に留意
 - 不要不急の外出と密接・密集・密閉が一つでも成り立つ場所への立ち入りを回避
 - 公共交通機関を利用する場合は、混雑する時間帯・場所を回避
 - タクシー等車両への同乗時の常時換気 (窓開け等)

- ▶ 打合せ・艀装時等における、訪船者間の濃厚接触回避の徹底
- 以下に該当する場合は、とりまとめ担当者を通じて運用部船舶運用グループへ速やかに報告・相談する（注3）。
 - ▶ 当機構が渡航に制約を設けている国・地域（外務省感染症危険レベル2以上相当）へ訪船14日以内に渡航歴がある場合
 - ▶ 新型コロナウイルス感染が判明した場合
 - ▶ 当機構が渡航に制約を設けている国・地域（外務省感染症危険レベル2以上相当）へ14日以内に渡航歴がある方と接触した可能性がある場合
 - ▶ 新型コロナウイルス感染が判明した方と判明前2日以内あるいは判明後7日以内に接触した可能性がある場合

【訪船3日前から訪船日まで実施すべき事】

- 訪船前72時間以内に訪船者は訪船前PCR検査用の検体採取を行い、PCR検査を実施する。検査の詳細、検査免除の条件、費用負担等については注4を参照。
- PCR検査の結果、陽性と判定された方には検査機関から直接連絡が入るので、速やかに各とりまとめ担当者、上長ならびに運用部へ連絡する。訪船は控え、検査機関・保健所の指示に従う。

【訪船前日に実施すべき事】

- 訪船前日10時までに健康記録簿・行動備忘録・記名済誓約書及びPCR検査結果（以下「訪船前提出書類」という）をとりまとめ担当者に提出する。
（記名済誓約書は、訪船前の行動について訪船に関する当機構が定める規程類を遵守したことを示すもので様式は別途指定する。注5を参照のこと）
- 同日正午までに首席研究者/主席研究員は集めた訪船前提出書類をMarE3運用部船舶運用グループ担当者に、首席研究者/主席研究員以外のとりまとめ担当者は集めた訪船前提出書類を取りまとめ担当者所属機関に提出する。
（PCR検査結果が陰性であっても訪船前提出書類の記載内容によりMarE3あるいは取りまとめ担当者所属機関が訪船に適さないと判断した場合は訪船が許可されない。個人情報の取り扱いについては注6を参照のこと）

【訪船当日に実施すべき事】

- 舷門において手指消毒と各自が用意したマスクの着用を徹底する。使用済みマスクは船内で廃棄せず持ち帰る。必要に応じて、各自が使用するタオル、消毒液・飲料等を持ち込むこと。
- 健康記録簿及びPCR検査結果が陰性であることを示す書類・画面表示等を、求めに応じて提示できるようにする。
- 船上では感染拡大防止のため他者との濃厚接触を可能な限り減らすこと。

なお、今後の行政機関や機構の方策等に基づき、上記基準を変更することがある。また、上記基準は新たな改訂基準の発行、あるいは適用取りやめの指示が出されるまで有効とする。不明の点があればとりまとめ担当者を通じて事前にMarE3担当部署に連絡・相談すること。

○MarE3 運用部船舶運用グループ連絡先(各船共通) : (e-mail) mare3-fleetops-kikan@jamstec.go.jp

* とりまとめ担当者 :

- 首席研究者／主席研究員 ← 乗船研究者 (手配業者を含む)
- 日本海洋事業担当者 ← 日本海洋事業関係者 (手配業者を含む)
- マリン・ワーク・ジャパン担当者 ← マリン・ワーク・ジャパン関係者 (手配業者を含む)
- 日本マントル・クエスト担当者 ← 日本マントル・クエスト関係者 (手配業者を含む)
- MOL マリン&エンジニアリング 担当者 ← MOL マリン&エンジニアリング 関係者 (手配業者を含む)
- JAMSTEC 運用部船舶運用グループ担当者 ← JAMSTEC 職員 (白鳳丸船員、乗船研究者を除く)、手配業者／代理店、広報関係者
- JAMSTEC 白鳳丸担当者 ← 白鳳丸船員

○訪船前 PCR 検査に関する問い合わせは、MarE3 運用部船舶運用グループまで相談のこと。

MarE3 運用部船舶運用グループ連絡先 : (e-mail) mare3-fleetops-kikan@jamstec.go.jp

以上

脚注

(注 1) 健康状態観察期間 14 日間、検温期間 18 日間について

- ・世界保健機関 (WHO) の Q&A によれば、現時点の潜伏期間は 1-12.5 日 (多くは 5-6 日) とされており、また、他の情報などから感染者は 14 日間の健康状態の観察が推奨されている。
(参考) 新型コロナウイルスに関する Q&A (一般の方向け)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

Ministry of Health, Labour and Welfare -About Corona Disease 2019 (COVID-19)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/newpage_00032.html

- ・検温期間 18 日間は 4 日間 (37.5℃以上の発熱確認期間) + 14 日間 (その後の健康状態観察期間) という考え方に基づく。

検温期間 14 日間とすると、たとえば訪船の 14 日前の 1 日だけ 37.5℃を超えた場合、その前の 3 日間にも 37.5℃以上の発熱があった場合を捕捉できない。この場合、訪船 13 日前に平熱に戻ったとしても、厚生労働省の推奨する 14 日間の経過観察期間がとれないことになる。従って 14 日間の経過観察を可能とするため 4 日間+14 日間の計 18 日間の検温結果を求めることとした。

- ・健康状態観察期間・検温期間は訪船日を 0 日目としてカウントすることとする。

(注 2) 健康記録簿に記録すべき体調の異常を示す例は以下の通り。

体調異常の例 : 発熱、呼吸器症状 (咳、咽頭痛)、頭痛、倦怠感等の症状や嗅覚・味覚障害等
訪船前の自己管理状況の確認及び陽性判明時の保健所等による行動調査に対応するため、行動

備忘録を作成し、訪船前の自己管理状況を記録する。

なお、やむを得ず緊急の訪船が必要であると MarE3 が判断した場合は、訪船 18 日前から検温開始までの発熱の有無等の体調異常について、自己申告を認めることがある。

(注 3) 報告を受け、訪船前 PCR 検査受検の可否を MarE3 運用部が判断する。必要に応じて別途追加 PCR 検査結果（検査費は各自負担）の受検を求め、その結果を参照する。当該受検者は追加 PCR 検査結果をとりまとめ担当者を通じて MarE3 運用部船舶運用グループへ原則訪船前 PCR 検査前日正午までに提出する。

(注 4) 訪船前 PCR 検査の実施について

- ▶ 訪船前 PCR 検査の具体的な実施場所・時期・方法等の詳細については別途 MarE3 あるいは取りまとめ担当者所属機関より連絡する。
- ▶ 検査結果に対して、陰性証明や医師による診断は必要としない。
- ▶ 訪船前 PCR 検査結果の有効期間は検体採取日を 0 日目とし、原則 3 日目までとする。
- ▶ 別途乗船前 PCR 検査を受検している場合、乗船前 PCR 検査を以て訪船前 PCR 検査に替えることができる（不明の点があれば運用部へ事前相談）。
- ▶ 訪船前 PCR 検査結果が陽性の場合、運用部へ速やかに伝達する。
- ▶ 訪船前 PCR 検査が必須となる訪船者の検査費用については、原則機構負担とする（負担内容及び費用精算方法については別途 MarE3 より連絡）。
- ▶ 空港検疫所等で行われる検査結果の取扱いについては、国の指針等を参考に MarE3 が判断する。

(注 5) 氏名欄への記名は自署（手書きによる記名）でなくても可とする。

(注 6) 訪船のために取得した個人情報の取り扱いについては、円滑な研究航海実施を目的とし、MarE3 及びとりまとめ担当者所属機関の担当者の範囲内に限り利用するよう、十分配慮する。